

平成30年度 事業計画

平成 29年度事業報告で示したように、多くの課題を抱えております。今期はそれら課題を一つ一つ解決し、災害時に対応できるよう努めていきたいと考えておりますので、関係の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■ 今期の取組

1 内部体制の強化（陣容の質の向上と増員）

- ① 拠点の当会への参加促進
- ② センタースタッフ増員のための訓練・養成講座の開催
- ③ 災V連のホームページリニューアルとFacebook ページの活用
- ④ 発災時の備えとして、センターホームページ 及び Facebook 作成
- ⑤ センター開設場所の検討

2 ネットワークづくり

- ① 区内関係先との連携
 - a 区役所、区社協との連携：運営委員会、訓練その他共催
 - b 地域防災拠点との連携強化
 - c 行政と連携して地域関係先（自治会町内会、地区社協、民生・児童委、青指委、ス推委 保活推、中学・高校生など）への連絡体制の構築
 - d 防災関連機関・団体：区民ふれあい祭りでの「防災減災スタンプラリー」共催
消防署、水道局、資源循環局、アマチュア無線協力会、防災ライセンスリーダー連絡会、日赤防災ボランティアQQの会、ボーイスカウト（2団体）、ガールスカウト、多文化まちづくり工房
- ② 市内近隣区（保土ケ谷、旭、瀬谷）災V連との合同訓練、他区訓練・研修会への参画
- ③ 横浜災害ボランティアネットワーク会議への参画：運営委、研修会、訓練など
- ④ 県・他都市・NPO/NGO での研修会参加

3 防災意識向上に向けての自己啓発および普及活動協力

- ① 防災関連講座、研修会への積極参加
- ② 区民ふれあい祭りに共同参加
- ③ 出前講座の実施（HUG、DIG、自助と共助・救護など防災訓練〈ゲーム〉開催）
- ④ 区社協主催のサマースクール（小中高生対象）での講座開催

4 広報活動

- ① 泉区災害ボランティア通信の発行
- ② 災V連 HP 及び Facebook ページの運営管理
- ③ 各種展示会への参画

5 障がい児者への取組み

- ① 災害時、地域防災拠点における避難生活の不安を少しでも軽減できるよう、障がい理解を促進する活動を行っていく。
- ② 災害ボランティアセンターにおける具体的な役割の検討を進めていく。

6 外国籍等住民への取組み

- ① 区全域における外国籍住民居住状況の把握
- ② 集住地域における防災訓練への運営協力
- ③ 通訳等の育成を行い、泉区における災害時多言語・多文化対応の拠点づくりを行う

7 運営委員会の開催

毎月1回。運営委員以外の方の参加を歓迎